

畜産・酪農関係予算の概要について

平成26年2月
農林水産省生産局畜産部

畜産関連の主な対策について①(平成26年度)

○は、平成26年度当初予算(政府案)
()内は、平成25年度当初予算額
●は、平成25年度補正予算(政府案)

1. 経営安定対策 (所要額)1,772(1,770)億円

○酪農経営安定のための支援

- ・加工原料乳生産者補給金(加工原料乳に新たにチーズ向け生乳を含めて補給金の対象にする) (所要額)311(227)億円
補給金単価の引上げ(単価 12.55円/kg→12.80円/kg、交付対象数量 181万ト→180万ト)
チーズ向け補給金単価の引上げ(単価 15.1円/kg→15.41円/kg、交付対象数量 25年度見込み47万ト→52万ト)
- ・加工原料乳生産者経営安定対策事業の継続
- ・国産乳製品供給安定対策事業(チーズ向け生乳供給安定対策事業から分離) 6(88)億円
- ・持続的酪農経営支援事業 62(62)億円

○肉用牛繁殖経営安定のための支援

- ・肉用子牛生産者補給金 (所要額)213(213)億円
保証基準価格等の引上げ(保証基準価格 黒毛 32万円→32.9万円、乳用 12.2万円→12.8万円 等)
- ・肉用牛繁殖経営支援事業 (所要額)159(159)億円
発動基準の引上げ(黒毛 41万円→42万円 等)

○肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)事業 (所要額)869(869)億円

○養豚経営安定対策事業 (所要額)100(100)億円

○鶏卵生産者経営安定対策事業 52(52)億円

鶏卵の補填基準価格等の引上げ(補填基準価格 186円/kg→187円/kg)

2. 畜産振興対策

○高収益型畜産体制構築事業【新規】0.7億円

畜産農家をはじめ、地域に存在する各種支援組織(コントラクター、TMRセンター、キャトルステーション等)や関連産業等の関係者(乳業、食肉センター等)の有機的な連携・結集による収益力向上のための取組を支援

●畜産収益力向上緊急支援リース事業 70億円

畜産経営における飼料自給率や生産性の向上等に必要な機械のリース方式による導入を支援

○多様な畜産・酪農推進事業 6(6)億円

多様な畜産・酪農の実現と消費者ニーズに対応した畜産物を安定的に供給するため、種畜の遺伝的能力評価に基づく家畜改良増殖や特色ある家畜の活用、個体識別情報を活用した飼養管理の効率化等を支援

○国産牛乳乳製品需要・消費拡大対策 9(9)億円

条件不利地域への学校給食用牛乳の供給支援により安定的な生乳需要を確保するとともに、国産生乳を用いた牛乳・乳製品の供給支援により学校給食等における生乳の利用を拡大。さらに、国産牛乳・乳製品の輸出に係る試行的取組等を支援

畜産関連の主な対策について②(平成26年度)

○は、平成26年度当初予算(政府案)
()内は、平成25年度当初予算額
●は、平成25年度補正予算(政府案)

3. 飼料対策

○飼料穀物備蓄対策事業 16(16)億円

不測の事態にあっても畜産農家に配合飼料を安定的に供給できるよう、配合飼料の主原料である飼料穀物の備蓄を実施

○飼料増産総合対策事業 14(15)億円

草地改良、優良飼料作物種子の活用、配合飼料給与量を低減させる粗飼料生産・給与技術の実証、公共牧場の機能強化、コントラクターの育成、青刈りとうもろこし等の生産拡大、食品残さ等利用飼料(エコフィード)の生産拡大等を支援

●配合飼料価格安定制度の異常補填基金への積増し 100億円

民間の自主的な積立による通常補填では対処し得ない配合飼料価格の大幅な値上がりに際し、生産者に異常補填金を確実に交付するため、異常補填基金に所要額の積増しを実施

●配合飼料価格高騰対応業務出資金 10億円

畜産農家に対する農林漁業セーフティネット資金の無担保・無保証人化枠を拡大するため、株式会社日本政策金融公庫に出資を実施

4. 畜産物価格関連対策

○酪農生産基盤維持緊急支援事業【新規】 10億円

都府県の酪農生産基盤の維持・回復を図るため、後継者確保や繁殖・飼養・衛生管理技術等の向上、高能力雌牛の導入をはじめとした地域における酪農経営の体質強化や多角化等への取組を支援

○加工原料乳供給安定緊急特別対策事業【新規:1年限り】 4億円

飼養管理の改善のための酪農家の自己点検・指導等に取り組む指定生乳生産者団体に対し、脱脂粉乳・バター等向けの加工原料乳出荷数量に応じた交付金(0.20円/kg)を平成26年度に限り交付

○酪農経営安定対策補完事業【拡充】 13億円

- ・新規就農者や酪農後継者育成の場としてのヘルパー人材の確保・育成への取組、傷病時利用の条件への「育児サポート」の追加や酪農ヘルパー利用組合の強化を推進
- ・生産寿命・繁殖成績向上のための遺伝子情報の活用や、乳用雌牛への肉専用種受精卵の移植など収益の向上に資する取組を支援

○肉用牛経営安定対策補完事業【拡充】 34億円

①繁殖経営への新規参入、繁殖雌牛の増頭の取組等、②地方特定品種の生産や離島等における肉用子牛の集出荷等、③肉用子牛等の預託の取組等を支援

○食肉流通改善合理化支援事業【拡充】 33億円

食肉流通の合理化に対する支援に加え、国産食肉の新需要の創出、生食用牛肉の需要回復等のための取組を支援

畜産関連の主な対策について③(平成26年度)

○養豚経営安定対策補完事業【新規】 1億円
各地域における生産能力向上に必要な純粋種豚等の導入を支援

○は、平成26年度当初予算(政府案)
()内は、平成25年度当初予算額
●は、平成25年度補正予算(政府案)

○畜産特別資金融通事業 融資枠 500億円
負債の償還に支障を来している経営等に対し、低利での借換資金の融通等を支援

○畜産動産担保融資活用推進事業【新規】 0.46億円
資金調達の多様化を図るため、動産担保融資(ABL)方式による資金調達の活用推進に資する取組を支援

○国産畜産物安心確保等支援事業【拡充】 5億円
家畜個体識別システムの円滑な運用確保、家畜疾病発生時における対応、自然災害等の緊急時における原料乳輸送等への対応等を支援

○飼料自給力強化支援事業(平成24年度補正予算で措置した事業の実施期間延長・抜本見直し) 127億円
国産粗飼料の生産・流通等の機能強化を通じ、国産粗飼料の利用拡大を図る取組を支援

○生乳需要基盤強化対策事業(平成24年度補正予算で措置した事業の実施期間延長・運用改善) 14億円
牛乳乳製品の価値向上、生産者等が製造する乳製品の高品質化、酪農への理解醸成等による国産牛乳乳製品の需要創出・消費拡大を支援

5. その他の対策

○強い農業づくり交付金 234(244)億円の内数

●強い農業づくり交付金 111億円の内数

- ・国産農畜産物の安定供給のため、生産から流通までの強い農業づくりに必要な共同利用施設の整備、畜産・酪農の経営資源の有効活用や乳業等の再編・合理化の取組等を支援
- ・畜産物の輸出に向けた体制整備等を支援する優先枠を創設

○産地活性化総合対策事業 29(23)億円

新規就農や経営資源の有効活用に必要な機械等のリース導入、飼料生産拠点の育成や放牧の取組等を支援。また、生産者、実需者、普及指導員等が連携して新品種・新技術を活用し、「強み」のある新たな産地形成を行う取組等を支援

○農業農村整備事業(公共) 2,689(2,627)億円の内数(農村振興局計上)

農地集積の加速化、農業の高付加価値化のための農地の大区画化・汎用化や畑地かんがい等の整備、老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震化対策等を支援

○農山漁村地域整備交付金(公共) 1,122(1,128)億円の内数(農村振興局計上)

地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災、減災対策を支援